

しろいし 市議会だより

2015
冬
第176号

- 2～3P 白石市議会基本条例を制定
- 4～5P 12月定例会の概要・審議した議案
- 6P 常任委員会
- 7P 予算審査特別委員会
- 8～11P 市政に対する一般質問(6名)
- 11P 市議会ライブ中継を開始
- 12P 臨時会・編集後記



「市議会のライブ中継」を開始しました
(12月定例会の様子)

白石市議会基本条例を制定！

～開かれた議会を目指し、ここからスタートします！～

平成25年12月定例会において議会改革特別委員会を設置し、これまで20回の委員会と6回の条例策定委員会（市民委員3名を委嘱）で条例の内容を検討してきました。

また、3回の議員研修会の開催や、10月には市民の皆さまからの意見募集（パブリックコメント）、市民フォーラム（市民パネリスト2名が参加）を開催するなど、全議員の共通理解や、市民への周知を進めてきました。

そして、昨年12月定例会において『白石市議会基本条例』を議員提案し、全会一致で可決しました。この条例のもと、これまでより「市民が開かれた議会」を目指します。



～白石市議会基本条例 前文～

白石市民から選挙で選ばれた議員で構成する白石市議会は、同じく選挙で選ばれた白石市長とともに、白石市の代表機関を構成します。

それぞれに、議会は多数による合議制の議事機関として、また市長は独任制の執行機関として、異なる特性を生かして、互いに競い合い、協力しながら、市民の意思を的確に市政に反映させ、白石市の最良の意思決定を導く共通の使命が課せられています。

近年、急激な人口減少と少子高齢化社会の到来など国と地方自治体を取り巻く情勢は大きく変化するとともに、市民のニーズも多様化しています。

また、地方議会においては、「議会が市民に見えていない」「議会と市民との距離が離れている」などの声も聞かれる中、私たち議会は、今、この声に耳を傾け、市民と真摯に向き合うことが必要だと考えます。

このような状況の下、私たち議会は、昭和29年の市制施行から60年を経た今、あらためて「議会は民意を反映する場であり、地方自治体における最高の意思決定機関である」ことを胸に刻み、地方自治法が定める規定の遵守とともに、その持てる権能を十分に駆使して、積極的な情報の創造と公開、政策活動への多様な市民参画の推進、議員間の自由な討議の展開、市長等の行政機関との緊張関係の保持、議員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議員活動を支える体制の整備等の取り組みを明らかにし、かつ的確に実践することにより、議会の責務を果たし、より市民が開かれた信頼される議会を築きます。

よって議会は、市民の声を聞き、地方自治の本旨である市民福祉の向上及び市勢の伸展のため、さらなる議会改革の推進を決意し、ここに白石市議会基本条例を制定します。

この条例は、前文と全8章（全31条）で構成されており、そのおもな内容は次のとおりです。

☆市民と議会の関係(第3章)

1. 情報公開の徹底と説明責任を果たします！【第5条】

- ・本会議のほか、常任委員会や特別委員会などの傍聴も原則公開とします。
- ・各議員の議案賛否をホームページで公開します。

2. 毎年1回以上、市民との意見交換会を開催します！【第7条】

- ・18名の議員が3班に分かれ、各地区公民館（9カ所）を会場に開催します。
- ・地域の現状や課題、市政に対するご意見や提言を伺う広聴の機会とします。

3. 市民団体などからの求めで一般会議を開催します！【第8条】

- ・一般会議は、教育、文化、福祉、産業など様々な分野の方々と議会が意見交換を交わす場です。その団体の要請に応じて会議を開催することを定めております。

4. 政策企画調整会議を設置します！【第9条】

- ・意見交換会や一般会議などの広聴活動による市民意見などを政策立案や提言とするために協議、検討を行う場とします。

☆市長と議会の関係(第4章)

1. 市民に見える議会運営を行います！【第11条】

- ・本会議での市長との審議の様態をインターネットによるライブ中継を実施します。
- ・ネット中継を行う本会議を中心に政策決定の過程を「見える化」します。

2. 議員と市長等の質疑応答は、すべて一問一答に統一して行います！【第12条】

- ・すべての質疑応答を、一問一答とし、聴く人にわかりやすい方式に統一します。
- ・論点や争点を明確にし、わかりやすい議論にするため、市長等へ議員の質問や議員提出議案に対する逆質問（反問）する権利を認めています。

3. 議会の議決すべき事項に、市の基本構想と総合計画を追加！【第15条】

- ・市政運営の総合的な指針となる基本構想とその構想に基づく基本計画（市総合計画）を、新たに議会の議決事項に定めています。

☆議会活動の活性化(第5章)

1. 議員間での自由討議により積極的な政策提言と条例提案を行います！【第16条】

- ・議員同士による自由な討論の場を設け、多様な意見を出し合い、積極的な政策提言や条例提案などを行います。

2. 政務活動費による活動状況をホームページで公開します！【第17条】

- ・会派へ交付される政務活動費により、積極的な政策立案につなげます。
- ・その用途は、透明性を確保するため、ホームページで公開します。

3. 近隣の自治体議会との交流や連携を図ります！【第20条】

- ・自治体が抱える課題や議会のあり方について、近隣の自治体議会をはじめ、他の議会との交流や連携を推進し、調査研究を行っていきます。

『第1回 市民との意見交換会』を、3月に開催する予定です。

※詳しい日程など決まり次第、皆さまへお知らせいたします。

12月定例会 一般会計補正予算など16議案可決

平成26年12月定例会は、12月5日から12月17日までの13日間の日程で開催されました。市長提出議案は、条例等11件、予算5件の計16件でした。

第70号議案から第85号議案については、各常任委員会、予算審査特別委員会に付託して審査を行いました。

一般質問では6名の議員が質問に立ち、当局の考えを質しました。定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、表決の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また同日、議員提出議案4件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案のおもなものは次のとおりです。

◎白石市市税条例の一部を改正する条例

この条例は、都市計画事業や土地区画整理事業を行う目的税として、課税区域内の土地及び家屋に対し課税する都市計画税について、課税区域の見直しを行い、新たに課税区域を加えるため、条例の一部を改正するものです。今回の改正は、公共下水道事業計画の変更や都市計画区域の変更等が行われた経過等を踏まえ、「現在の都市計画

区域の用途地域」と「公共下水道事業計画における下水道処理区域で、供用が開始された区域から農業振興地域整備計画の農用地を除いた区域」について、平成27年度から都市計画税の課税区域に新たに加えるものです。

〔質疑〕今回の改正で税収はどのくらい増えるのか。

〔答弁〕今回の見直し区域の面積は76.49haで、税額は平成26年度の価格推計で約1千396万円増える見込みである。

〔質疑〕対象区域の住民への周知はどのように行うのか。

〔答弁〕平成27年5月の固定資産税・都市計画税の納税通知書送付時に個別の納税者へのお知らせを同封する。その前に、対象地域へのチラシ配布と広報しろいしや市のホームページで区域の見直しについての掲載を行い周知していきたい。

予算

◎平成26年度白石市一般会計補正予算（第6号）

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億3千541万1千円を追加し、予算総額を162億8千922万2千円とするものです。おもな内容は次のとおりです。

○定住促進奨励金 200万円

○沖ノ沢郡山線街路樹植栽事業 400万円

○白石蔵王駅構内案内板整備事業 170万円

○南中学校体育館吊り天井改修工事 2千659万円

〔質疑〕沖ノ沢郡山線街路樹植栽事業について、植栽する区間はどこになるのか。

〔答弁〕植栽場所は、シルバーハウジングを過ぎてから国道113号線との接続地点までである。

〔質疑〕白石蔵王駅構内の観光案内板設置工事の内容について伺う。

〔答弁〕現在は、駅構内の柱を利用して手づくりで観光案内をしていた。

今回、白石蔵王駅の耐震補強工事により、柱が若干太くなるため、今までの看板を撤去し、新たに観光案内板を設置するものである。

設置内容は、日本語表記だけでなく、外国人観光客向けの表記も考えている。

また、白石市の観光、片倉小十郎関連、年間行事を交換できてその時期のイベント等を表示できるもの、ポスターの掲示ブースなど、柱の四面を有効活用していきたいと考えている。

〔質疑〕農林水産業費の被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の減額について、実際にどのくらいの被害があり、その申請があったのか。

〔答弁〕平成26年2月の大雪のために畜舎・ハウス等の倒壊により、必要な予算を計上していた。

総事業費は、約1億6千349万円である。額の確定により予算額を減額している。

その財源は、国の補助金を減額しているが、県の補助金を増額している。

申請件数は135件で、撤去に関する経費は約1千889万円、再建・修繕に関する経費は約1億4千460万円である。

〔質疑〕教育費において、新たに電子黒板8台が増設となった経緯について伺う。

〔答弁〕電子黒板8台については、生徒数、クラス数の多いところを中心に対応するため増設となった。

議員提案

定例会最終日(12月17日)に議員提出の4議案が上程され、提案理由説明後、表決の結果、全会一致で可決しました。

提出された議案の内容は次のとおりです。

◎白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、現在の経済状況を考慮し、また、市長・副市長・教育長の給与の減額措置が継続されているため、これまで実施してきた議員月額報酬の2.5%を減額調整する措置を、引き続き平成27年1月から任期満了となる平成27年7月まで継続するため、条例の一部を改正するものです。

◎白石市議会基本条例

※詳しくは2ページから3ページをご覧ください。

白石市議会基本条例の制定により、第9条で規定する政策企画調整会議が設置され、議長指名による委員の選任と正副会長の互選が行われました。

政策企画調整会議のメンバー(8名)は次のとおりです。

会長	小川 正人
副会長	山 谷 清
委員	澁 谷 政 義
委員	伊 藤 勝 美
委員	管 野 恭 子
委員	水 落 孝 子
委員	佐久間 儀 郎
委員	山 田 裕 一

◎白石市議会会議規則の一部を改正する規則

◎白石市議会委員会条例の一部を改正する条例

白石市議会基本条例の制定により、必要な規則等の一部を改正するものです。

12月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第70号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	原案可決
第71号	白石市職員の配偶者同行休業に関する条例	原案可決
第72号	白石市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決
第73号	白石市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
第74号	白石市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
第75号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第76号	白石市福祉事務所設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第77号	白石市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第78号	白石市障害児通所施設条例の一部を改正する条例	原案可決
第79号	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第80号	指定管理者の指定について(白石市スポーツセンター)	原案可決
第81号	平成26年度白石市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
第82号	平成26年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第83号	平成26年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第84号	平成26年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第85号	平成26年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
第6号	議員提案 白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第7号	議員提案 白石市議会基本条例	原案可決
第8号	議員提案 白石市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
第9号	議員提案 白石市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

常任委員会

第70号議案・宮城県市町村自治振興センター規約の変更についてから第80号議案・指定管理者の指定についてまでの計11議案について、定例会2日目（12月9日）の本会議で質疑が行われた後、所管の常任委員会に審査が付託され、12月11日に各常任委員会で議案の審査が行われました。審査の中で議論されたおもな内容は次のとおりです。

総務財政常任委員会

委員長 佐久間 儀郎
副委員長 伊藤 勝美
委員 安藤 佳生・沼倉 啓介
平間 知一・四竈 英夫

◎白石市職員の配偶者同行休業に関する条例

この条例は、地方公務員法の一部改正により、職員が外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることを可能とする休業制度が創設されたことに伴い、新たに条例を制定するものです。

〔質疑〕職務復帰後における職員給与の号俸調整はどのように行うのか。

〔答弁〕育児休業を取得した場合などの号俸調整の例を参考に取扱うことになる。

教育民生常任委員会

委員長 制野 敬一
副委員長 山田 裕一
委員 水落 孝子・小川 正人
佐藤 英雄・山谷 清

◎白石市手数料条例の一部を改正する条例

〔質疑〕手数料を徴収している飼養の登録票とはどのようなものか。

〔答弁〕許可を得て捕獲した鳥獣のうち、狩猟鳥獣以外の鳥獣を飼う場合、県の登録を受けなければならない。県からの委譲事務で市が行うものである。

〔質疑〕鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）の法律名に「管理」の文言が加わることで、鳥獣の管理はどのように変わるのか。

〔答弁〕シカやイノシシの被害は、全国的なものであり、法律の名称改正により、鳥獣の保護に加え、生息数を適正水準に減少させ、生息地を適正範囲に縮小させるという「管理」が必要となる。

〔質疑〕利用者数の状況は。

〔答弁〕平成25年度の実績で利用者は2万116名、利用件数は約1千200件である。

〔質疑〕施設を借りる時間帯は、午前・午後・夜間の3区分となっている。

家族で手軽に利用できるように、時間毎で区切る利用方法を検討できないか。

〔答弁〕ネット設営や準備体操も含め、3時間程度の利用を想定した区分である。今後、利用実態を調査し、時間毎での利用区分ができるかどうか検討したい。

◎白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例

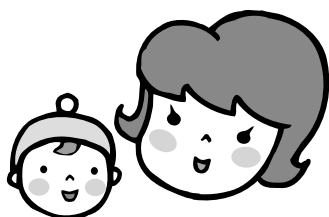
この条例は、健康保険法施行令の一部改正、国の社会保障審議会医療保険部会における産科医療保障制度の掛金改正及び出産育児一時金の総額維持（42万円）の決定に伴い、条例の一部を改正するものです。

〔質疑〕出産育児一時金の支給総額42万円に変更はないが、実際に出産した方への支給額に変更はあるのか。

〔答弁〕産科医療補償制度として産科医療機関への支払額が、3万円から1万6千円へ減額となる。実際の出産育児一時金は、39万円から40万4千円で、1万4千円の増額となる。

〔質疑〕産科医療補償制度の掛金変更になった理由は。

〔答弁〕この制度は、通常妊娠・通常分娩で1級または2級程度の障害を伴う医療事故が発生した場合に支払われる補償制度である。その医療事故が少なく、剰余金があることから、国の社会保障審議会医療保険部会において、掛金の見直しが行われた。



予算審査特別委員会

第81号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第85号議案・平成26年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)については、定例会2日目(12月9日)の本会議において質疑が行われた後、正副議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・制野敬一、副委員長・大町栄信)は、12月10日に審査した結果、第81号議案から第85号議案については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

◎平成26年度白石市一般会計補正予算(第6号)

総務費

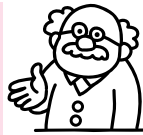
〔質疑〕白石市定住促進奨励金の申請状況を伺う。

〔答弁〕平成26年11月末現在で申請件数が45件(市内転居が31件、市外からの転入が14件)である。市外からの転入により増えた世帯は14世帯、人数で34人である。

〔質疑〕定住促進に手厚く補助額・奨励金を出している市町村もある。さらに定住促進に力を入れる必要があると考

えるが、奨励金の増額については検討されているのか。

〔答弁〕今後、定住促進を進めるためにも、奨励金の増額も視野に入れ検討していく。



定住促進奨励金制度とは定住を目的として土地・建物を取得した転入者や市内在住者に対し、取得費用の一部を助成する制度です。土地・建物の取得費の2%(上限あり)が助成されます。

(上限・転入者は30万円、市内転居は10万円)

〔質疑〕沖ノ沢郡山線街路樹植栽事業について、土壤改良はなぜ必要なのか。

〔答弁〕今回植栽する場所は、赤土風の粘りのある土壤である。そのため、水はけが悪く、植える部分を少し深く掘り、土壤改良の肥料を混ぜて土を入れ、ハナミズキを植えたいと考えている。

商工費

〔質疑〕白石蔵王駅構内の観光案内板の他言語による表記について、日本語と英語の他にどのような言語を考えているのか。

〔答弁〕東南アジアからの

外国人観光客の数が、増加傾向にある。白石城への来客数のうち、台湾とタイが非常に多い。そのことを考慮して表記する言語を決めたい。

〔質疑〕2015年に第3回国連防災世界会議が仙台で、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、東北に来る外国人観光客も増えると予想される。今後、市内の観光案内板も含め、他言語の表示が必要になると考えるがどうか。

〔答弁〕国際化を見据えた場合、観光案内板も整備していかねければならないが、Wi-FiやSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サー



改修となる観光案内板

ビス)の活用も含め、今後検討していく。

土木費

〔質疑〕市営住宅7棟分の定期検査の内容について伺う。

〔答弁〕建築基準法により3階以上の建物、床面積1千㎡以上が該当する。検査内容は、外壁や基礎の劣化状況の調査、建物の傾きなどを専門業者が調査し、県に報告書を提出する。

教育費

〔質疑〕電子黒板とタブレット端末の増設について、電子黒板などを利用した授業はわかりやすいと感じるが、指導する先生のスキルが非常に重要になってくる。その授業の準備について、教員側の体制は現在どうなっているのか。

〔答弁〕電子黒板の活用は増えているが、それを使う教員のスキルがまだまだ足りない。校内での研修を行い、少しでもスキルアップを図っていきたいと考えている。

市政に 対する 一般質問

〽〽6名の議員が質問〽〽

12月定例会の一般質問は、12月15日・16日の2日間にわた
り行われました。なお、議会改革の検討から試行的に全員が
「一問一答方式」により質問を行いました。
質問の要旨は次のとおりです。

大野 栄光 スマートインターの必要性について 他

佐久間儀郎 「健康マイレージ制度」の創設について 他

四竈 英夫 蔵王山の噴火に対する備えについて 他

山田 裕一 地方創生「新交付金」の準備について 他

伊藤 勝美 マイナンバーについて 他

菅野 恭子 白石和紙について 他

スマートインターの必要性について

大野 栄光



〔質問〕市内を走る高
速道路に利便性上、ス
マートインター設置が
求められている。沿岸
部と日本海との交通の
要所であり、情報・物
流・観光の高速化とし
て短時間で進入してこ
そ利用価値が増すと考
えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】あると
便利と思うが、どこに
設置するのか。また、
国土交通省が利用価値
などから、どのように
認めるのが問題と考
えている。

〔質問〕場所がない、
条件的に大変だとして、
スマートインターが、
この先、設置されなけ
れば、本市の発展に望
みは薄く、交通インフ
ラの充実が発展の条件

と考えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】交通イ
ンフラは当然必要であ
る。国の政策や国土政
策、スマートインター
設置に対する規則等を
考えなければならぬ。
また現時点で、東西
のどこに大型バスが通
れる場所があるのか。
そういうものが必要で
あることを考えていた
だきたい。

〔質問〕東日本大震災
での高速道路の果たす
役割は重要であった。

国見と白石のイン
ター間は距離が長く、
災害時に心配される。
あらゆる面で利用され
るスマートインターは
必要と思うがいかがか。

〔答弁〕【市長】スマー
トインターの計画をつ
くる場合、その詳細ま
でを検討しなければな
らない。国の要綱など

を精査しながら検討し
ていきたい。

◎キューブ周辺に野外
スケート場を

〔質問〕季節限定のミ
ニスケート場をキュー
ブ周辺にできないか。

〔答弁〕【市長】過去10
年間において、氷点下
の月は3回のみであつ
た。野外の場合、「凍る
のか」という問題があ
り、野外スケート場の
設置は、現時点では困
難であると考ええる。

◎被災地支援について

〔質問〕先般の広島市
や長野県白馬村の自然
災害の被災地域に対し
て、どのような支援を
行ってきたのか。

〔答弁〕【市長】自治体
間で直接支援を受けた
場合や姉妹都市・防災
協定締結の場合は別で
あるが、宮城県や県市
長会の状況を確認した
ところ、支援予定はな
いとのことから、現時
点で被災地支援は行っ
ていない。

「健康マイレージ制度」の創設について

佐久間 儀郎



〔質問〕日頃の健康づくりの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みとして、健康マイレージ制度は検討に値すると考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕【市長】この制度は、「健康づくりのきっかけ」であると考ええる。しかし、本来の目的とは少し離れてきており、ポイントをためて商品券と交換するところなどが逆に注目されていると感じている。

本市では、保健師・栄養士による各地区の健康教育、保健栄養教室や健康相談を実施しながら、各種健康事業を進めていきたい。

そのため、現時点では健康マイレージ制度の創設は考えていない。

◎「生涯スポーツや地域スポーツの推進」について

〔質問〕スポーツは心身の発達、健康の維持・増進、そして地域活性化に大きな役割を果たすと考えられる。

そこで、スポーツ推進委員と連携して、地域に根ざした市民総スポーツの現状について伺う。

〔答弁〕【教育長】スポーツ推進委員との連携により、ふるさとまつりやシャフルボード大会、市民綱引き大会などを開催している。

また、中央公民館の講座での講師、公民館まつりの一環でニュースポーツ講習会の開催など市民の健康維持の増進を図っている。

〔質問〕総合型地域スポーツクラブの創設に向けた現状について伺う。

〔答弁〕【教育長】今年度に宮城県体育協会から指導を受け、運営母体と考えられる団体と協議をしている。年度内のクラブ成立に向けた検討委員会の設置を行いたい。

〔質問〕白石市体育協会を中心とするスポーツ団体及び指導者の育成、スポーツ人口拡大の現状について伺う。

〔答弁〕【教育長】人口減少、少子化・高齢化が急速に進行する中で、平成25年度と同様の継続的な事業を推進しており、横ばいあるいは微増の傾向にある。

スポーツ環境を維持しながら、さらにスポーツ人口の拡大を目指していきたい。

【その他の質問】

◎児童生徒の「問題行動調査」について

蔵王山の噴火に対する備えについて

四 竈 英 夫



〔質問〕去る9月27日に御嶽山が噴火し、多くの被害が発生した。蔵王山噴火の可能性について、調査と対策に関する検討委員会が開催されたことだが、その概要を伺う。

〔答弁〕【市長】御嶽山の噴火を受け、12月11日に、東北地方整備局主催で火災噴火緊急減災防災計画検討委員会が開催された。

その内容は、ハザードマップの基礎資料となる噴火のシナリオ、土石流等の被害想定案などが示された。その会議で出された意見等を反映させ、最終計画案が、平成27年3月の委員会で審議され、決定される予定である。

〔質問〕白石市の被害想定はどの程度なのか。

〔答弁〕【市長】会議において、現時点で想定される降灰被害は、白石川北側の山間部で約10cm、市街地で約1cmである。

〔質問〕今後の対策は。

〔答弁〕【市長】鹿兒島市の桜島の場合は、降灰の除去は各自で行い、回収を行政が行っている。先進事例を見ながら対応策を検討する。

◎農業経営について

〔質問〕平成26年産米価格は、60kg当り8千400円の仮渡金で低価格であった。農業を取巻く情勢が厳しい中で、農家に対してどのような対策を講じていくのか。

〔答弁〕【市長】米価下落の要因は、需給のバランスが崩れた結果で

あると考える。これは全国的な問題であり、東北市長会や宮城県市長会の一一致した意見として、米価下落対策と稲作経営体質強化を図るように、国に対して要望書を提出した。

〔質問〕肥育素牛の価値が続いている。優良素牛・繁殖素牛を導入する場合、経費の一部助成をして、優良繁殖牛の基盤づくりを図る考えはないのか。

〔答弁〕【市長】市では、優良繁殖雌牛保留奨励事業を実施しており、和牛改良組合に対し、1頭当り5万円の助成金を出している。

〔質問〕燃料代の高騰も農業経営を圧迫している。今回、免税軽油制度は継続されたが、このような制度の継続の働きかけが今後も必要と考えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】必要な制度であれば、その継続を関係機関に働きかけていく。

地方創生「新交付金」の準備について

山田 裕一



〔質問〕去る11月21日、地方創生関連2法案が可決・成立した。法案の概要は、「地方が自立につながるよう自らを考え、責任をもって取り組む戦略を推進するため、国は情報支援や人的資源を積極展開する」となっている。

つまり、「我が市は、このような市にしている」と、5年後を目標に戦略的にかつ具体的に示すことができれば、新たな交付金を受けられることが可能になる。この法案成立後、全国の自治体では、「すぐにも名乗りを上げよう」と、庁内に「地方創生本部」が次々に発足しているとの情報が耳に入る。

そこで、本市において、この地方創生について市長はどのような考えをお持ちか伺う。

〔答弁〕【市長】国からは、市町村がそれぞれ人口動向を分析し、今後5カ年の目標、政策の基本方向性や施策を提示する「地方版の総合戦略」を平成27年度中に策定するように示されている。

現在、地方創生新交付金について、ソフト面・ハード面のどの部分か許可になるのか、国から具体的には示されていない状況にあるが、何とか「地方版の総合戦略」を策定していきたいと考えている。

〔質問〕国立社会保障人口問題研究所の人口動向によると、本市の2040年の人口は2万4千965人。2010

年対比でマイナス33.3%。実際に子どもを産めるであろうとする女性（20歳～39歳）の人口が、2040年では、1千903人。2010年対比でマイナス49.8%との数値が出ている。

これらの状況から見ても、国に先駆けて庁内で議論しなければならぬと考えるが、現在の庁内の準備体制について伺う。

〔答弁〕【市長】現在、市職員の任意のワーキンググループから、子育て支援拡充として、「教育の充実」と「住宅問題」の提案を受けたところである。

今後は、第五次総合計画を見直しながら、「白石だけ」というものをこれからも発信し続けながら、白石市の活性化のために努力していきたい。

〔その他の質問〕
◎「うーめんの日」の発信について

マイナンバーについて

伊藤 勝美



〔質問〕マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の導入に向けた本市における現在の準備状況とスケジュールについて伺う。

〔答弁〕【企画情報課長】平成27年10月までに個人番号の通知、翌年1月には社会保障・税分野のうち可能な範囲から個人番号、法人番号の利用を開始し、希望者には個人番号カードを発行する。情報ネットワークシステムは、平成29年1月に国の機関の間で、同年7月には地方公共団体を含めた運用を開始する予定である。

現在、個人番号の通知に向けた住民基本台帳システム改修を行っている。

〔質問〕この制度は、国・県・市町村が別々に持つ情報の連携が可能となり、事務の効率化や利便性の向上が期待される。その一方で、所得や税金などのプライバシー性の高い情報を1つの番号で運用するため、個人情報の漏えい防止が重要である。個人情報保護について、どのような安全確保の対策が講じられるのか。

〔答弁〕【市長】この制度では、個人情報保護法や住民基本台帳法などよりも罰則が強化されている。

また、市が特定個人情報ファイルを保有する前には、個人情報の保護等を目的とする「特定個人情報保護評価」が義務づけられている。今後、関係する条例案の提出に向けて検討していく予定である。

◎小中学校の規模について

〔質問〕少子化による学校の小規模化が避けられない今、小中学校の規模の適正化、今後の小中学校のあり方についての現状や課題について見解を伺う。

〔答弁〕【教育長】小規模校のデメリットは、集団生活ができなく社会性が身につかない、学力面で競争原理が働かない。また、中学校では、子どもたちの成長に大きな影響を持つ部活動などに支障が出てきている。

そのため、平成25年に「小中学校のあり方検討委員会」を設置し検討してきた。今年度2月に答申が出される予定であり、その答申をベースに教育委員会で方向性を示したい。

〔その他の質問〕
◎農地等と再生可能エネルギーについて
◎教育委員会制度改革について

白石和紙について

菅野 恭子



〔質問〕ユネスコ無形文化遺産保護条約第九回政府委員会において、日本の「和紙・日本の手漉和紙技術」が代表一覧表に記載される決議がされた。本市には、今回の登録対象ではないが、各界から高い評価を受け利用されている白石和紙がある。現在、諸課題から存続が厳しいと聞く。白石和紙は文化・産業・観光等の多面的に重要な価値を有している。存続のため、行政として必要な支援を積極的に行うべきではないか。

〔答弁〕【市長】最盛期には300軒あった白石和紙の工房は、明治以降の洋紙に押され、現在は一工房のみである。その方も高齢のため後継者の課題がある。このままでは歴史ある貴重な白石和紙文化が途絶えてしまうのではと危機感を持っている。ぜひ、この文化を後世に伝承できないかと考え、本人の意向を確認しており、その結果を受け、今後の方向性を見きわめていきたい。

◎季節性インフルエンザの助成拡大について

〔質問〕本市は、中学3年生を対象に、千円負担で予防接種が可能となり、保護者から大変喜ばれている。しかし、13歳未満の子どもを対象は2回必要で、その費用は刈田総合病院では6千500円で、保護者からは、負担が大きいとの声が多くある。兄弟姉妹がいる家庭ではなおのことである。

大事な子どもたちの健康を守るため、また子育て支援の見地から、ぜひ、その費用を助成すべきではないか。

〔答弁〕【市長】子どもの当接種は任意であるが、将来の進路へ与える影響を考慮し、受験生である中学3年生を対象に一部助成することにしたが、現在、対象拡大は考えていない。

〔質問〕市内のある企業の方から、「若い人が集まる子育て支援策を市に尽力願いたい」旨を伺った。方策はいろいろあるが、医療支援は重要である。懸命に働く若い世代を支援するためにも、対象拡大を検討すべきではないか。

〔答弁〕【市長】子育て支援は、定住促進など全体を見ていく必要がある。市の財政もしっかりと把握したうえで押し進めていく必要がある。そのため、対象拡大は、現在のところ考えていない。

議会のライブ中継を開始

12月定例会において、インターネットによる議会のライブ中継を開始しました。

議場で行われる本会議や予算審査特別委員会などがライブ中継や過去の映像として配信され、ご自宅のパソコンやスマートフォンなどで会議の様子をご覧になれます。



議場での一般質問の様子



11 市のホームページの「市議会ライブ中継」をクリック

ライブ中継に使用している議場システム

臨時会

◎白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

原案可決

◎平成26年度白石市一般会計補正予算(第5号)

原案可決

◎白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

原案可決

◎平成26年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)

原案可決

第412回市議会臨時会が、平成26年11月26日に開かれ、市長提出議案8件の審議を行いました。各議案の内容と審議結果は次のとおりです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第7号)(平成26年度白石市一般会計補正予算)

承認

ふるさと納税者への謝礼と大鷹沢地区及び八宮・深谷地区の焼却灰仮置場造成工事費用をそれぞれ増額し、全体で1千361万9千円の予算額を増額しました。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第8号)(平成26年度白石市一般会計補正予算)

承認

衆議院議員総選挙の費用を計上し、全体で2千309万3千円の予算額を増額しました。

◎白石市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

原案可決

この3条例は、人事院勧告に基づく国の法律改正に準拠し、条例で定める市議会議員及び市長・副市長・教育長の12月期の期末手当の引き上げについて、条例の一部を改正するものです。

◎白石市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

原案可決

人事院勧告に基づく国家公務員の給与と制度改定に準じて、条例で定める職員の給与・通勤手当・12月期の期末手当の引き上げについて、条例の一部を改正するものです。



12月定例会を傍聴した大平小6年生

議会を傍聴してみませんか！

2月定例会は、平成27年2月17日(火)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査の様子をライブ中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、生中継配信の日から30日間を経過すると自動で削除されます。

●12月定例会の傍聴者数 25人 ●ライブ中継の合計視聴者数(累計) 737人

編集後記

新春のお慶びを申し上げます。本年が皆様にとつて、健康で幸多い一年になることを祈念いたします。

議会では、昨年12月議会において「議会基本条例」を全会一致で可決、制定いたしました。また、12月議会より「議会のネット中継」を開始し、さらに開かれた議会を指してまいります。

本年3月には、議会として「市民との意見交換会」を市内9カ所で実施し、これまで以上に皆様の声を政策に反映できるよう努力してまいります。

結びに、私たちの任期も残すところ約半年となりましたが、市民の皆様への負託にしっかりとこたえられるよう全力で邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

議会広報特別委員会

山田 裕一

議会広報特別委員会	委員	栄光
委員	長	大野 栄
副委員長	山田 裕一	
委員	澁谷 政義	
委員	伊藤 勝美	
委員	菅野 恭子	
委員	大町 栄信	